

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 登録実用新案公報(U)

(11) 実用新案登録番号

実用新案登録第3102991号
(U3102991)

(45) 発行日 平成16年7月22日(2004.7.22)

(24) 登録日 平成16年5月12日(2004.5.12)

(51) Int. Cl.⁷

A 4 7 K 13/24

F 1

A 4 7 K 13/24

評価書の請求 未請求 請求項の数 1 書面 (全 4 頁)

(21) 出願番号 実願2004-811 (U2004-811)
(22) 出願日 平成16年1月23日(2004.1.23)(73) 実用新案権者 504070435
林 有造
千葉県銚子市外川町2丁目10956番地
(72) 考案者 林 有造
千葉県銚子市外川町2丁目10956番地

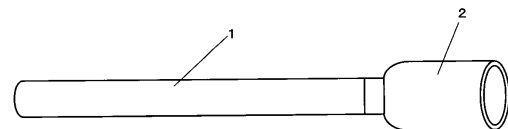
(54) 【考案の名称】 小便時の補助具

(57) 【要約】

【課題】 男子小便専用便器がなく洋式便器又は和式便器しかない家庭で、男性が小便をする時、便器に小便をこぼしたり、床に小便を滴下したりして汚さないようにするための小便時の補助具。

【解決手段】 洋式便器又は和式便器で直立した状態で小便する時、片手で小便排水硬質パイプ1を持ち、挿入口軟質パイプ2の中程まで陰茎を入れ、小便する。小便は挿入口軟質パイプ2の曲面に沿って流れ、小便排水硬質パイプ1へ流れ落ち、便器へ小便が流れ、便器に小便をこぼしたり、床に小便を滴下したりして汚すことがなくなる。

【選択図】 「図1」



【実用新案登録請求の範囲】

【請求項 1】

小便排水硬質パイプ 1 に陰莖挿入口軟質パイプ 2 を差込み結合した構成からなる小便時の補助具。

【考案の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

本考案は、男性が小便をする時に放尿飛沫の飛散防止及び残尿の床滴下防止を図るようにした補助具である。

【背景技術】

【0002】

男子小便専用便器がなく洋式便器又は和式便器しかない家庭で、男性が小便をする時、便器に小便をこぼしたり、床に小便を滴下したりして汚さないようにするのが困難であり、掃除が大変で不衛生であった。

そこで、陰莖の挿入口パイプを本体筒の中間まで差込結合して、本体筒底部に小便排水口を設け、小便排水口から既存便器内へ達する小便排水フレキシブルパイプを設けた構成からなる小便時の補助具が実開平 6 - 4 1 6 0 0 号公報により公知となっている。

しかしながら、挿入口パイプに陰莖を入れ小便をした時に、本体筒の中で小便が跳ね返り、また丹念に水洗いしないと本体筒内壁及びフレキシブルパイプ内壁に小便が残ることが危惧され、それにより不衛生になる懸念がある。

【考案の開示】

【考案が解決しようとする課題】

【0003】

そこで、本考案は、以上の欠点を解決し、小便を既存便器へ簡単に衛生的に導く補助具を提供することを目的とする。

【考案が解決しようとする手段】

【0004】

小便排水硬質パイプ 1 に、陰莖の入る大きさの挿入口軟質パイプ 2 を差込み結合した構成からなる小便時の補助具である。小便排水硬質パイプ 1 及び挿入口硬質パイプ 2 は抗菌加工した樹脂を使用しても良い。

【考案の効果】

【0005】

挿入口軟質パイプ 2 から入った小便は、小便排水硬質パイプ 1 へ流れ落ち、既存便器へ小便が導かれる。これにより、既存便器に小便をこぼしたり、床に小便を滴下したりして汚すことがなくなる。また、小便は挿入口軟質パイプ 2 の曲面に沿って流れるので跳ね返ることなく、さらに極めて簡単な構造のため水洗いが簡単で小便が残ることが少なく、大変衛生的である。

【考案を実施するための最良の形態】

【0006】

小便が閉塞せず流れる内径を有する硬質樹脂からなる小便排水硬質パイプ 1 と、十分に陰莖の入る内径を有する軟質樹脂からなる挿入口軟質パイプ 2 を差込み結合で取付ける。小便をする時、片手で小便排水硬質パイプ 1 を持ち、挿入口軟質パイプ 2 の中程まで陰莖を入れ、小便は挿入口軟質パイプ 2 の曲面に沿って流れ、小便排水硬質パイプ 1 へ流れ落ち、既存便器へ小便が流れる。

【実施例】

【0007】

以下、添付図面に基づいて実施例を説明する。

本考案の小便排水硬質パイプ 1 の材質は、ポリエチレン、ポリプロピレン及び塩化ビニールなどの熱可塑性硬質樹脂から形成され、図面 1 に示す長さ 450 mm、外径 15 mm、内径 13 mm のパイプを作る。挿入口軟質パイプ 2 の材質は、エチレン - プロピレンゴム

10

20

30

40

50

、エチレン - プロピレン - ジエンゴム、エチレン - 1 - ブテンゴム、エチレン - 酢酸ビニルゴム及びシリコンゴムなどの熱可塑性軟質樹脂から形成され、図面 1 に示す挿入口の外径 50 mm、内径 48 mm、長さ 100 mm の挿入口軟質パイプ 2 を作る。図面 3 に示すように、小便排水硬質パイプ 1 と挿入口軟質パイプ 2 は差込み結合で取り付ける。小便排水硬質パイプ 1 及び挿入口硬質パイプ 2 の材質は抗菌加工処理しておくが良い。

【0008】

なお、挿入口軟質パイプ 2 の材質が硬質樹脂であると、陰茎を入れた時に、角に接触した場合、陰茎が傷つくことが懸念されるため、軟質樹脂でなければならない。また、小便排水硬質パイプ 1 の材質が軟質樹脂であると、小便する時、片手で小便排水硬質パイプ 1 を持った場合、挿入口軟質パイプ 2 が揺れて陰茎を入れづらくなるため、適度に硬質である硬質樹脂でなければならない。

10

【0009】

使用方法は、洋式便器又は和式便器で直立した状態で小便する時、片手で小便排水硬質パイプ 1 を持ち、挿入口軟質パイプ 2 の中程まで陰茎を入れ、小便する。小便は挿入口軟質パイプ 2 の曲面に沿って流れ、小便排水硬質パイプ 1 へ流れ落ち、既存便器へ小便が流れる。使用後は、既存便器の手洗い水ですすぎ洗いすれば良い。

【産業上の利用可能性】

【0010】

これを使用すれば、既存便器を汚すことがなくなり、掃除の手間がなくなり、大変衛生的である。また、構造が非常に簡単で安価で作れ、産業上の利用可能性大である。

20

【図面の簡単な説明】

【0011】

【図 1】本考案の斜視図である。

【図 2】本考案の正面図である。

【図 3】本考案の A - A 断面図である。

【図 4】本考案の平面図である。

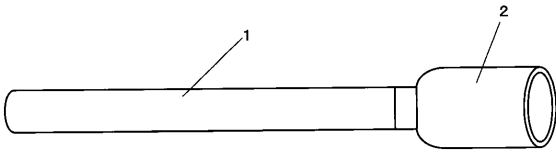
【符号の説明】

【0012】

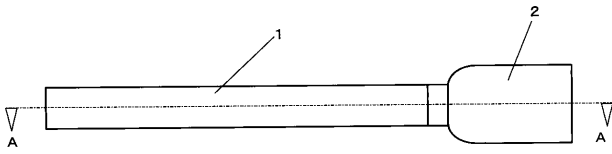
- 1 小便排水硬質パイプ
- 2 挿入口軟質パイプ

30

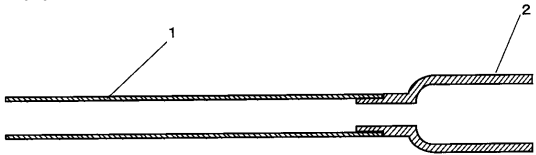
【 図 1 】



【 図 2 】



【 図 3 】



【 図 4 】

